

F Mアップルウェーブ 第83回放送番組審議会

開催日時

平成25年12月16日(月) 18:00~19:00

開催場所

土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 工藤 茂起
委員 鳴海 清彦、佐藤 浩之、渋谷 拓弥、高村 智子、太田 真理子、大西 晶子

会社側出席者

代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、
取締役:倉田 昌直、放送部マネージャー:花田 由香子

議題

- (1)番組に対する意見要望
- (2)次回開催日について 2月15日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1)課題番組 『きらり☆ハッピーデー』 (毎週月曜~金曜 9:30~12:30)

- ① パーソナリティに安定感があって良い。安心して聴くことができる。中継のリポーターが津軽弁を使っているが、最後まで徹底して津軽弁で話しているのが共感が持てた。リスナーに対して、丁寧な対応をしていたのが良い。
- ② 情報番組として有意義。中継の内容も生活に役立つ話題だったので良かった。「行政なんでも情報」は次回予告などがあってもいいのでは。「お買い得情報」は、食べ物のお話にボリュームが出てしまうので、パーソナリティがコントロールするべき。
- ③ 生活情報として有意義ではあるが、仕事や動きながら聴くとすると、一本調子で聴き難い部分がある。メリハリをつけるべき。
- ④ 津軽弁のリポーターが、インタビュー相手の標準語に引きずられていたのが気になった。もう少しメリハリのあったトークが良い。
- ⑤ パーソナリティに安定感がある。中継リポーターがインタビュー相手の氏名を紹介しなかった、しっかり名前を紹介するべき。津軽弁で話すのなら「SeeYou」ではなく、「へばね！」などが良かった。全国の有名なお酒を紹介する際、地酒にも触れて欲しかった。
- ⑥ 中継リポーターがインタビューの際、相槌が「うん」なのが気になった。「ながら聴き」していると、手を止めて耳を傾ける情報もあった。ニュースを読む声が暗かった。もっとはつらつとした印象があれば良い。
- ⑦ 番組構成が良い。津軽弁でのレポートが聴いていて嬉しいが、津軽弁、というより「津軽イントネーション」だった。津軽弁の単語も交えて話すことがあっても良い。
- ⑧ パーソナリティのトークが丁寧で誠実な印象。中継リポーターもはつらつとしていて良い。月曜から金曜までの毎日3時間、情報を集めるのは大変。様々な機関の人を見つけて話を聞いてほしい。弘前中心のラジオ番組、ほかのラジオ局とは差別化を図って地域情報を発信してほしい。もう少し、インタビューの相手にツッコミを入れても良いのでは。

【審議機関の答申または改善】

曲とトークのバランスを考えた番組構成で、情報の集め方、話の聞き出し方など、パーソナリティの技術を今後も精進すること。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載